

S F A 第 5 6 回 U - 1 2 サ ッ カ ー 選 手 権 大 会
〔第 3 2 回しがぎんカップ〕〔第 1 8 回平和堂杯〕〔第 1 回滋賀トヨタ杯〕
大 会 要 項

1. 主 旨

日本の将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。

将来に向けて大きく成長するための準備として、この年代にふさわしいゲーム環境を提供することにより、育成年代で年代に応じた豊かな経験を積み重ねる中で自ら成長していくことのできるようサポートする。子どもたちや周囲の大人が、サッカー、スポーツの素晴らしさに触れ、生涯にわたって楽しみ、関わっていけるよう、文化として醸成していくことを目指す。

2. 主 催 公益社団法人滋賀県サッカー協会

3. 主 管 公益社団法人滋賀県サッカー協会 4 種委員会

4. 協 賛 株式会社滋賀銀行 株式会社平和堂 株式会社滋賀トヨタ

5. 期日・会場

ブロック予選：2024年4月～5月 湖西・湖南・湖東・湖北・甲賀各ブロック

開会式：5月25日(土) 守山市民ホール(守山市三宅町125)

トーナメント戦 1回戦：6月2日(日) 2・3回戦：6月9日(日) 準決勝以降：6月16日(日)

野洲川歴史運動公園サッカー場<ビッグレイク>(守山市服部町2439番地)

※本大会の上位 4 チームは関西大会に出場する。 期日：9月7日(土)・8日(日) 会場：J-GREEN堺

6. 組み合わせ 開会式に抽選を行い決定する

7. 参加チーム 湖西：8 湖南：6 湖東：9 湖北：4 甲賀：4 特別枠：1 合計 3 2

8. 参加資格等

- 1) 参加チーム及び選手は、各ブロック予選を勝ち抜いたチーム・選手とする。
- 2) 指導者はチームに所属する成人で、良識ある社会人として責任を持って選手を掌握指導できる者であること。また、内 1 名以上が J F A 公認指導者資格(D 級以上)を有すること。
- 3) チーム代表者は、選手が心身ともに大会参加に問題がない健康状態であることを、事前に保護者等に確認しなければならない。(参加承諾等を書面で確認することが望ましい)
- 4) 参加チームは必ず傷害保険(スポーツ安全傷害保険)に加入していること。

9. 参加費 5,000円

10. 大会方法 3 2 チームによるトーナメント方式とする。

11. 競技規則 大会開催時に適用の公益財団法人日本サッカー協会の規約・規程・競技規則に則る。
参照用URL <http://www.jfa.jp/documents/>

12. 競技会規定【以下の項目については本大会の規定を定める】

1) 競技のフィールド

フィールドの大きさは 68m×50m を基本とし、その他のマーク等は 8 人制サッカー競技規則に則る。

2) 試合球は、4 号球を使用する。

3) 選手の数および交代

- ① 1 チーム 8 人の選手によって行われる。チームの選手のうち 1 人はゴールキーパー(以下 GK)とする。試合開始時に選手が 8 人に満たない場合は不戦敗とし、0 対 3 で相手チームの勝利とする。試合中、怪我等による人数不足により選手が 8 人未満になった場合は、そのまま試合終了まで続行する。
- ② 登録できる交代要員および交代の最大人数は制限しない。交代して退いた選手は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない。
- ③ 自由交替制とし、インプレー中も自由に交代できる。交代の際は、交代ゾーンで明確に入れ替わること。ただし GK は主審の許可を得て試合中断時に交代すること。GK が交代で退く際は、境界線の最も近い位置からフィールドを出なければならない。

4) 選手の用具

- ① スパイクシューズを使用する場合は、ポイントが固定式で、金属が露出していない安全な物であること。
- ② 試合当日、参加チームは登録した正副両方のユニフォームを用意すること。(ピブスによる対応は認めない)
- ③ 選手番号は、本大会にエントリーした固有の番号を使用すること。ただし、選手の負傷退場等、緊急時に主審が認めた場合はこの限りではない。
- ④ ユニフォームに番号を取り付ける場合は、容易に破損しない布地を使用し、全周囲を途切れることなく縫い付けること。四隅のみの縫い付けや、安全ピン・ホック・ボタン等の使用は認めない。
- ⑤ 選手は、シャツの裾をパンツに入れることが望ましい。審判または大会運営役員からシャツの裾をパンツに入れるよう指示された場合は従うこと。
- ⑥ 特に注意すべき点を以下に示す。【 】内は規定条項または関連する J F A 通達
 - a) 【ユニフォーム規定第 4 条 1 項】ユニフォームのうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒と明確に判別し得るものでなければならない。黒以外に濃紺や深緑も不可となる場合があるので注意すること。
 - b) 【ユニフォーム規定第 4 条 2 項】シャツの前面と背面の主たる色彩は同じでなければならない。パンツ及びソックスの前面と背面の色彩は同じでなければならない。
 - c) 【ユニフォーム規定第 4 条 4 項及び 5 項】対戦チームのユニフォームは当事者同士で譲り合って調整すること。調整の際、登録したユニフォームをどのように組み合わせてもよい。当事者で調整できない場合はその試合の主審を交えて調整する。
 - d) 【ユニフォーム規定第 5 条 (2)】シャツの背面及び前面には、選手番号を必ず表示しなければならない。選手番号は、服地と明確に区別し得る色彩(服地が縞柄で判読が困難な場合には台地を付ける)であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
 - e) 【ユニフォーム規定第 5 条 (2)】番号は整数の 1 から 99 を使用すること。0 は認めない。ただしチームの J F A 登録選手が 100 名以上の場合に限り、100 以上の番号を認めることがある。
 - f) 【ユニフォーム規定第 5 条】シャツの背中の部分には、選手名、選手番号、メーカーロゴ以外の表示があってはならない。
 - g) 【ユニフォーム規定第 8 条による特別規定】ユニフォームに広告を表示してはならない。ただし、正規の承認申請を行い、大会開始前に J F A の審査承認を完了した場合はこの限りではない。
 - h) GK が着用する膝ガード用サポーターの色は規定しない。
 - i) 【2020年3月18日通達】GK のパンツ、ソックスは F P と同系色でもよい。GK のシャツの色彩は、他の選手、審判員と明確に判別できるものでなければならない。ピブスによる対応は認めない。
 - j) 【8 人制サッカー競技規則第 4 条】両チームの GK のユニフォームが同色で、両者が他のユニフォームと着替えることができない場合、両チームの GK は同じ色彩でも良い。
 - k) 【2020年3月18日通達】アンダーシャツ・アンダーショーツおよびタイツの色は規定しない。ただしチーム内で同色のものを着用すること。着用するかどうかは統一しなくてよい。同一チーム内で複数の GK が着用する場合は同色とすること。
 - l) 【2020年3月18日通達】ソックステープ等の色は規定しない。
 - m) 【2020年3月18日通達】同一チーム内でユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、主たる色が同系色であれば着用することができる。

5) テクニカルエリア(ベンチ)

- ① テクニカルエリアに入れる者はエントリー選手全員と指導者 2 名以上 3 名以内とする。
- ② その都度ただ 1 人の指導者のみがテクニカルエリア内から戦略的指示を伝えることができる。
- ③ 選手及び指導者は、必要時以外は常に着席していること。

6) 試合時間

- ① 試合時間は前、後半とも20分間とし、ハーフタイムのインターバルは5分間とする。選手の負傷等で試合時間が空費された場合、主審の判断で時間を延長することがある。
- ② 必要に応じて、前・後半中に飲水タイムを採用する。その間は試合時間の計測を中断する。
- ③ 決勝のみ、前後半5分ずつの延長戦を行い、なお決しない場合はPK戦により勝者となるチームを決定する。延長戦に入る前のインターバルは5分間、PK戦に入る前のインターバルは1分間とする。

7) PK戦について

- ① 規定の試合時間内に勝敗が決しない場合、PK戦により勝者となるチームを決定する。PK戦は3人で行い、4人目以降はサドンデスとする。
- ② PK戦の進行中にGKが負傷してプレーが続けられなくなったとき、エントリーされている交代要員と交代することができる。
- ③ 試合終了時にフィールド内にいた選手だけがPK戦に参加できる。ただし上記②の例外を除く。
- ④ 上記③の資格のある選手は、PK戦の進行中に主審の許可を得てGKと入れ替わることができる。
- ⑤ 試合が終了したとき、フィールド内で一方のチームの選手が相手チームより多い場合、選手の多いチームはPK戦を行う前に相手チームの選手数と等しくなるように自チームの選手数を減らさなければならない。主将またはベンチの指導者は、除外する選手の氏名と背番号を主審に通知しなければならない。これによって除外された選手はPK戦に参加できない。

8) 審判

試合は1人の主審と1人の予備審判で運営される。審判員は県協会より派遣する。

13. 懲罰

- 1) 本大会は、日本サッカー協会「懲罰規程」に則り、規律・フェアプレー委員会を設ける。
- 2) 規律・フェアプレー委員会の委員長は、滋賀県サッカー協会4種委員長とし、委員については委員長が決定する。
- 3) 本大会の異なる試合において警告を2回受けた選手は、本大会の次の1試合に出場できない。
- 4) 本大会において退場を命じられた選手は、本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の処置は本大会の規律・フェアプレー委員会が決定する。選手が退場を命じられた場合、そのチームは交代要員の中から選手を補充することができる。主審は、選手が補充されようとしている間、試合を停止する。
- 5) 本大会の予選(ブロック予選)は懲罰規定上の同一競技会とみなし、予選終了時点で未消化の退場・退席による出場停止処分は、本大会において順次消化する。
- 6) 規定のない事項の懲罰については、本大会の規律・フェアプレー委員会が決定する。

14. 同一の登録チームから複数のチームが県大会へ参加する際の注意

県大会への複数チーム出場は認めるが、上位大会への複数チーム出場は認めない。複数のチームが県大会上位に勝ち進んだ場合、順位が上の1チームを残して他のチームは上位大会への出場を辞退すること。なお辞退に伴う代替チーム選出については大会本部が決定する。

15. その他

- 1) 本大会の一部の試合において、マッチウエルフェアオフィサーを設置する。チーム責任者は、マッチウエルフェアオフィサーの活動に協力すること。
- 2) 主催者は、大会中の災害・事故・怪我・疾病等についての責任を負わない。防災・防疫対策については、試合会場管理者の指示に従うこと。
- 3) チームの都合による遅刻は認めない。止むを得ない事情により到着が遅れる場合は、必ず大会本部に連絡し、指示を仰ぐこと。事前に遅刻の連絡があった場合、大会本部がその理由や他のチームの都合を考慮して日程調整の可否を検討する。試合開始予定時刻を経過しても到着せず連絡もない場合は、試合放棄による棄権とみなし、0対3で相手チームの勝利とする。以降の処置については本大会の規律・フェアプレー委員会が決定する。
- 4) 本大会は「大会要項」「県大会における注意事項」「4種委員会規約及び申し合わせ」に基づき運営する。規定のない事項は大会本部が決定する。
- 5) 大会本部は、悪天候や諸事情により大会を中止または延期する場合、ブロック長を通じてチームに連絡する。

県大会(決勝トーナメント)出場チーム

特別枠：DCMセントラル滋賀

湖西ブロック代表【8チーム】

- 青山ジュニアフットボールクラブ
- ヴォンゴーレ瀬田フットボールクラブ
- レークウエストジュニアフットボールクラブ
- BIWAKO S.C. 志賀ジュニアA
- 打出フットボールクラブA
- 膳所ジュニアフットボールクラブ
- 晴嵐スポーツ少年団サッカー部
- 和邇フットボールクラブ

湖南ブロック代表【6チーム】

- レイジェンド滋賀FC U-12 BLUE
- アミティエ・スポーツクラブ草津A
- JSC. HAYAMA
- FC草津
- 栗東FCU-12
- 玉川ナイスキッズサッカークラブ

湖東ブロック代表【9チーム】

- 彦根フットボールクラブ
- FCジュニオール滋賀 ホザ
- COLORS SA U-12
- 金田フットボールクラブ
- 竜王サッカースポーツ少年団
- SV ROHDIA
- 野洲ジュニア・フットボール・クラブ
- 能登川フットボールクラブ メテオ
- リブラ五個荘フットボールクラブ

湖北ブロック代表【4チーム】

- びわサッカースポーツ少年団
- 米原ジュニアフットボールクラブ
- 大原ジュニアフットボールクラブ
- 神照フットボールクラブ

甲賀ブロック代表【4チーム】

- Multa Konan fc
- A. Z. R 1st
- A. Z. R 2nd
- 綾野ジュニアサッカースクール

トーナメント日程

